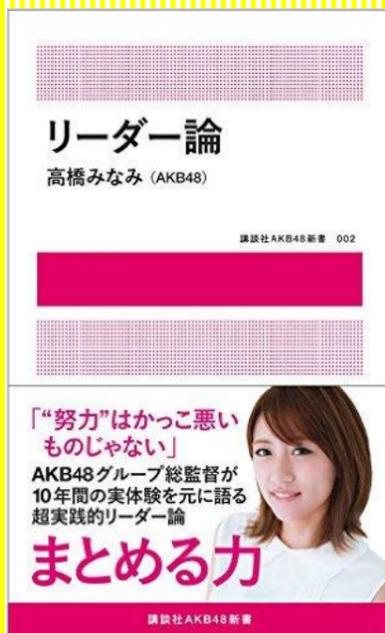


2月新着おすすめ本

今月は、新着の「文庫」や「新書」を紹介します！
「文庫」、「新書」は、一般書と比べると小さく軽装であるため、一般の書棚ではなく、2階ラーニング・コモンズ隣とラーニング・コモンズの中に別置されています。詳しくは、図書館職員にお尋ね下さい。

『リーダー論』

高橋 みなみ (AKB48) 著 (講談社)



767.8
TA

こちらもおススメ



767.8
SA

「“努力” はかっこ悪いものじゃない」AKB48 グループ総監督が10年間の実体験を元に語る、超実践的リーダー論。まとめる力。
(「BOOK」データベースより)

『さとり世代』

盗んだバイクで走り出さない若者たち』

原田 曜平 著

(KADOKAWA / 角川書店)



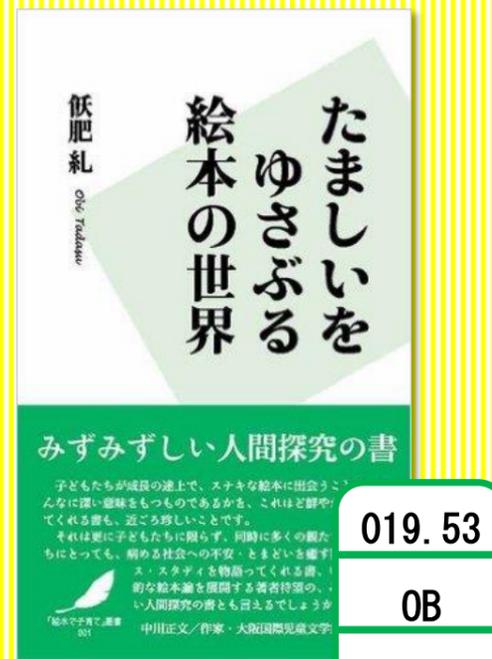
367.68
HA

ムダな消費もムダな努力も拒否する若者たち。若者の若者によるおじさんのための若者論。
(「BOOK」データベースより)

『たましいをゆさぶる絵本の世界』

飢肥 紘 著

(絵本で子育てセンター)



019.53
OB

批評家・エッセイストの飢肥紘が、日本・世界の名作絵本を読む。「本を読む行為は生きる行為であるから、ごまかさずに僕に訴える絵本、生きている本を、僕は読みたい」。「絵本で子育て叢書」(絵本で子育てセンター刊行)の第1弾。
(Amazon.co.jpより)

『小説 君の名は。』

新海 誠 著 (KADOKAWA/メディアファクトリー)



913.6

SI

山深い田舎町に暮らす女子高校生・三葉は、自分が男の子になる夢を見る。見慣れない部屋、見知らぬ友人、目の前に広がるのは東京の街並み。一方、東京で暮らす男子高校生・瀧も、山奥の町で自分が女子高校生になる夢を見る。やがて二人は夢の中で入れ替わっていることに気づくが—。出会うことのない二人の出逢いから、運命の歯車が動き出す。長編アニメーション『君の名は。』の、新海誠監督みずから執筆した原作小説。

(「BOOK」データベースより)

『古市くん、社会学を学び直しなさい!!』

古市 憲寿 著 (光文社)



361.04

HU

「社会学って、何ですか?」気鋭の若手社会学者・古市憲寿のあらためての問いに、日本を代表する12人の社会学者たちが熱く答える。社会学は、役に立つのか?社会学は、誰のためにあるのか?社会学者には、今、何ができるのか—?私たちが現在抱える諸問題に、研究者たちがそれぞれの専門分野から切り込みながら、社会学の面白さ、難しさ、社会学こそが教えてくれる「ものの見方」を伝える。社会学の新たな入門書。

(「BOOK」データベースより)

『キリンビール高知支店の奇跡 勝利の法則は現場で拾え!』

田村 潤 著 (講談社)



588.54

TA

高知発、東海、そして全国へ!! 地方のダメ支店からの逆転力。アサヒスーパードライから首位を奪回せよ! フツの営業マンが掴み取った、営業の極意。

(「BOOK」データベースより)